

新年のご挨拶

東京電力パワーグリッド株式会社

小田原支社長 相内 ゆか

新年明けましておめでとうございます。

小田原電設業協同組合の皆さまにおかれましては、健やかに新春を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

また皆さまには、日頃より電力事業の運営に多大なるご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

今回の年末年始は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、例年より静かな時間を過ごされたのではないのでしょうか。

この新型コロナウイルスは、昨年2月から始まり、想定以上に長引く事になりました。4月には『緊急事態宣言』が発令され、人が殆ど出歩かなくなり、日本だけでなく世界中でこの様な事態になることを誰が想像していたのでしょうか。新年を迎えても今尚感染防止・行動自粛が続いておりますが、これらは【事業継続のための課題】と共に、良い意味での【変化】も与えてくれました。

移動規制のため「在宅勤務」や「県を跨がる出張を抑制」したことにより、弊社内でもテレワークやリモート会議が格段に普及し、「働き方改革」を実践していく後押しになりました。もちろん現場を抱える企業として、全ての業種に適応するには難しい部分もありますが、業務の総点検を行い、必要業務を絞り込んで行くことで、改めて業務を整理する事ができました。

また今冬インフルエンザが蔓延していないのも、海外を行き来する渡航者が減りウィルスを持ち込む機会が減ったことに加え、感染防止がしっかりとされているお陰だと言われています。

過去に上司から「人は困った時に知恵を出す！」と言われた事を実感する日々だったと感じています。新年を迎え、この1年は更に知恵を出し合い、「【変化】に対応できる組織」を目指していく所存です。

さて、弊社は一昨年の大型台風15,19号の経験と反省から、より迅速・的確に被害状況を把握し、社会のみなさまが必要とする情報をどのように伝えて行くか、また感染防止も踏まえた非常態勢をどの様に運営するか、検討と訓練を行い備えて参りましたが、昨年は2008年以来、12年ぶりの台風上陸ゼロとなった珍しい年となりました。とは言え、この備えはムダになるものではなく、今後も発生するであろう異常気象にもしっかり備えが出来たと考えております。電気工事を営むみなさまとの関係が必要となる際には、引き続きご理解とご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、新年を迎え、貴組合の益々のご発展と、組合員の皆さまの一層のご活躍とご健勝を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。